

2018年5月 (No.347)

主な内容とページ

二桁成長成るか、今年の半導体市場.....	1
第1四半期も高成長を継続.....	2
半導体貿易は伸び率鈍化.....	4
今年の半導体市場の成長、二桁台に達するか.....	4
アナログ IC 急減にみる好調下の異変.....	5
日本アジア欧州 18 年第1四半期半導体企業業績.....	6
米半導体大手、好調だった第1四半期.....	10
米朝首脳会談と日本(SRL だより).....	13

二桁成長成るか、今年の半導体市場

第1四半期は予想を上回る好調な結果で、今年も昨年につき二桁成長の可能性が高まった。

1. 第1四半期の半導体の世界需要は、1年前から2割増と好調。このまま横ばいでも年間では8%程度、季節的にこれから需要増大期に入ることから二桁成長の可能性が高まってきた。
2. 日本向け半導体需要は世界に比べ控え目だが、足元の国内需要は7年ぶりの高水準にあり、堅調な伸びが想定される。
3. 明るい展望だが、成長に乗れないあるいは取り残される例も増加。スマートフォンや車載用の売り込み激化から大幅減収、赤字転落もみられ、注意が必要だ。

米朝首脳会談と日本

史上初の米朝首脳会談が6月にも行われる予定。ここに至るまで紆余曲折、果たして順調に開催されるか今後を見守るしかないが、アジア情勢あるいは世界情勢に大きな影響を与えよう。一連の動きの中で日本の立場、役割がより明確になり、ひいては見直しあるいは新たな活動をもたらすかもしれない。

米国は自由社会の盟主として君臨してきたが、今後の朝鮮半島の復興、再建には日本など近隣の支援、取り組みがより必要。資金面だけではなく、どのような展望、将来像を描き、地域や世界のなかで分かち合えるか。米国主導だけでは限界があり、より多くの国々の参加、とくに日本は役割が問われる。

欧州中東が、多くの問題を抱えながらそれでも国家間あるいは域内で取り組んでいるのは参考になる。日本は、アジアでは経済規模でこそ中国に抜かれたが、先進性、政治体制、国際貢献などその実績は群を抜いている。日本人が思っている以上に世界的な評価は高く、近隣諸国も、その経験と指導力を期待しているはずだ。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL(半導体総合研究所)の解釈と分析で表現したものです。

2018年 著作権所有 SRL(半導体総合研究所)

SRL Monthly Report

2018年5月(毎月1回発行)第29巻5号(通巻347号)

発行元:株式会社 SRL

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

May 2018, No.347

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubocho Nishitokyo-City, Tokyo Japan

188-0014 Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2018

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)